

(兼題)

「景気」 三島 崧丘 選

佳句

景気よく乾盃平和祈ります
好景気招く明るい服を着る
景気には遠い我家の台所
景気よく飲んで唄って明日を呼ぶ
典子さま景気地元は天こ盛り

人

玲子
治代
桂子
玲子
博子

景気良い話は聞かぬダルマの目

地

岸 桂子

景気いい隣は犬も美容院

天

柳楽たえこ

乾杯のかけ声せめて景気良く

軸吟

西坂 瑞人

好不況どうあれ祝う初春の膳

三島 崧丘

(兼題)

「和服」 銭山 昌枝 選

佳句

和服着る日本の女らしくなる
和服には日本の文化生きている
着流しの川柳作家縁之助
正月は妻も和服を着て欲しい
住職の気分で庭を掃く作務衣

人

治代
桂子
章峰
放舟
瑞人

久々の和服惚れ惚れする女房

地

竹内すみこ

この和服粋なドレスにして着よう

天

仲田美千代

モンローの振袖姿見てみたい

軸吟

藤井 寿代

傘寿に着る為の着物は買ってある

銭山 昌枝

(兼題)

「梅」 竹治ちかし 選

佳句

病む夫に季節を知らず梅一輪
雪の中約束通り笑う梅
何事も受ける覚悟で梅開く
老母の技やつと似てきた梅の味
松竹梅生けて掛軸様になる

人

たえこ
歌子
美智子
健柳
昌枝

梅三分ふつとあなたの気配する

地

伊藤 玲子

一輪の梅の小枝に春もらう

天

多久和敬子

雪かぶる梅よお前も耐えてるか

軸吟

伊藤 玲子

天神も眠っています梅の種

竹治ちかし